

| 所属名                    | 1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想   | 2 令和7年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取組み内容・課題等  |
|------------------------|---|--|
| 新潟県弁護士会                | <p>まずは、昨年の長岡市における自殺者数・率が減少したことを喜ばしく思います。この点、市の施策の効果が出たのか、偶然の結果なのか、可能な範囲で検証が必要と思います。</p> <p>高齢者の自殺率が高い状態が継続しており、気になります。</p> <p>物価高、過疎化等、相変わらず市民の生活環境は好転していませんので、全員に支援が届く環境整備が重要と思います。</p>  | <p>弁護士会としては、自殺要因となる諸問題（経済問題、家族問題その他）に、個別具体的に関わって解消することで自殺対策に貢献すると共に、関係機関との勉強会による関係作り、相談会の実施による自殺リスク者の直接支援等の方法で、自殺対策に寄与していきます。</p>  |
| 長岡市薬剤師会                | <p>令和6年は、市自殺者数は、男性女性いずれも減少しており、総数としても前年を大きく下回っている事は評価できる点であるが、増加したときと同様に減少したときも具体的な理由を検討できれば良いと思う。</p> <p>依然として40代、50代、60代男性の数が多い。</p>  | <p>7月13日：公益社団法人新潟県薬剤師会主催により、令和7年度自殺予防ゲートキーパー研修会を行う。今年度は、自殺予防の視点からオーバードーズを理解するための研修会とする。長岡市薬剤師会の会員も参加する。</p>  |
| 新潟県臨床心理士会              | <p>昨年度、自殺者数が減少したのは喜ばしいことです。皆様の御努力が形になってきたものと思います。</p>   | <p>自殺に特化しての取り組みはありませんが、メンタルヘルスに関する研修を県心理士会全体で取り組んでいます。（昨年度はハラスメントについての全体研修を行いました。）</p>   |
| 長岡地域病院<br>ソーシャルワーカー連絡会 | <p>R6年度の自殺者数はかなり減っており、事業数もR5年度に比べ多く、特に重点施策の事業はかなり増やしており、達成度もほとんどA以上だったという結果が、自殺者数の大きな減少につながったのではないかと思います。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うつ病等で入院や通院をしている患者さんや家族からの相談に応じ、関係機関と連携が図れるよう取り組んでいる。</li> <li>・自殺企図や自傷等で医療機関を受診したハイリスク者が、必要な支援につながるよう、様々な関係機関といかにスムーズに連携できるかということが課題と思われる。</li> </ul>  |
| 長岡商工会議所                | <p>・ここ数年の長岡市の自殺死亡率ランキングではワースト10位以内となっていたが、令和6年度は前年対比で▲8.9%と減少が見られ良かったと思うが、一方で、新潟県・全国と比較して長岡では女性60歳以上無職同居の自殺者が多い事が分かった。背景には身体疾患とあるので、県民・企業等に対し健康寿命の延伸に向けた取組強化が必要だと感じた。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も社会保険労務士による「労務・メンタルヘルス相談」を毎月開催するほか、企業の健康経営への取り組みに際し、参考にしていただくため「健康経営セミナー」を2回開催する。</li> <li>・自殺の背景にある職場の悩みによる精神疾患について、昨今の「カスハラ」による被害も今後は懸念されることから、10月に「カスハラ対策セミナー」を開催し、現場での初期対応や未然に防ぐ対応法について学んでいただき、自分の身は自分で守るべきを知っていただきたいと思っております。</li> </ul>   |
| NPO法人女のスペース・ながおか       | <p>資料1の5. 県内の自殺死亡率（人口10万人対）から、令和5年度に比べ、令和6年度は自殺死亡率がかなり下がっていることがわかる。令和5年度は、特に自殺死亡率が上がっていたこともあるが、これまでの市の取り組みの成果が数値に現れはじめていると感じました。</p> <p>資料1の6. 地域の主な自殺の特徴（R1～R5）から、「男性60歳以上無職同居」の比率が1位で、全国も県内も同じ特徴となっているように、失業から生活苦に陥る傾向は、近年は特に多いと感じます。さらに生活苦から心身不調を引き起こすケースは多く、特に年齢に関係なく男性役割に縛られていると相談へつながることが難しい場合があると感じます。</p> <p>生活苦が解決したら自殺まで行くことのないケースをどのように見つけ出していくか、相談に繋がりがやすくなるために何が必要なのか、より丁寧な掘り起こしが必要だと感じます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常業務（電話、面接相談、カウンセリング、同行支援）の中で、相談者の話を丁寧にお聴きすることで、相談者の背景にある課題や危機経路の掘り起こしに繋がればと考えています。</li> <li>・女性たちの相談から家族の問題が浮かび上がるケースも多く、来談者よりも家族の一員に自殺念慮があり相談を受ける事があります。そのようなケースでは、その当事者と直接話しができない場合もあり、その方に繋がりがやすい関係機関との連携の仕方が課題です。</li> <li>・昨年度より地域女性のつながり支援事業を実施しており、自由に過ごせる居場所の提供から、プチ相談コーナーなどを設置し相談ニーズの掘り起こしが出来ればと考えています。</li> </ul> |

| 所属名                | 1 「長岡市自殺対策計画の進捗状況」に対する意見・感想   | 2 令和7年度各団体・関係機関の自殺予防に関する取り組み内容・課題等   |
|--------------------|---|--|
| 長岡市社会福祉協議会         | 簡単に一喜一憂はできませんが、昨年度自殺者数が大きく減少したことをうれしく思いました。特に働き盛り男性、40～60歳代の減少が顕著であり、職域層を対象とした取組を中心に支援の成果が表れ始めていますと感じました。   | ・地域のつながりが希薄となり孤立が進む社会において、地域さえあい事業やボランティアの活動支援などを通じ、隣人同士が助け合い安心した生活ができる地域づくりに向けてこれからも取り組んでいきます。  |
| 長岡警察署              | 年間の自殺者数がゆるやかに減少していることから、長岡市の対策がうまく行っていることが分かる。  | 自殺企図者を取り扱った際には状況に応じて、関係機関への通報や連携した対応を行っている。また、家族にも関係機関や相談先について教示している。  |
| 長岡地域振興局健康福祉環境部     | 【資料1】自殺者数の年次推移では、R6年は昨年比24人(男17、女7)減と過去10年で最も少なくなっています。これは基本施策や重点施策の取り組みが効果を上げてきているものと思われます。年代別自殺者数の年次推移ではR6も70歳以上が多い結果になっており、今後も高齢世代への取り組みをより綿密に展開していく必要があります。自殺者数や自殺死亡率の増減は一定期間の観察が必要であるので、さらなる減少を目指した自殺予防に向けた取り組み強化が求められます。<br>【資料2】自殺対策計画進捗状況報告書では、A、AA評価が多く、様々な分野から予防対策の充実が図られてきていることが伺えます。自殺予防はまさに生きることの包括的支援であり、すべての世代に対して、地域の中で自分らしく生きることを保障していくことに他なりません。こうした様々な分野からの予防対策が必ずや大きな力となり、自殺に追い込まれることのない長岡市が実現することを願っています。そのため今後さらに、より一層連携・協働して予防・支援活動に努めていきたいと考えます。今後ともよろしくお願いいたします。 | 【若年層】<br>①高校生向けこころの健康に関する講演会(講師派遣9校)<br>②専門学校・大学生を対象とした自殺に関する意識調査(8月以降を予定)<br>【働き盛り世代】<br>①商工会議所・商工会を通じた普及啓発(9月、3月)<br>②希望する事業所・団体でのこころの健康に関する出前講座(理容組合でのGK講習)事業所や生活困窮者支援機関等の実態把握(市町との協働)<br>【自殺ハイリスク者】<br>①若年層の支援者向け研修会(11月予定)<br>②高齢世代の支援者向け研修会(2月予定)<br>【こころの相談ダイヤル】<br>24時間対応<br>【その他】<br>自殺ハイリスク者個別支援を関係機関と協働しながら実施すると共に、普及啓発や支援ネットワーク作りを実施します。ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。 |
| 中越地域いのちとこころの支援センター |   |  |
| 新潟青陵大学             |   | 保健管理センター職員(看護師・臨床心理士)が新潟県看護協会主催の自殺予防ゲートキーパー研修を受講し、学生・教職員の自殺予防に関する資質の向上に努める。  |